

## 報告1 酒々井町地域防災計画の改定状況について

地域(町)の実情に即して作成する災害対策全般にわたる基本的な計画

### 地域防災計画の見直しを行っています



#### 一 概 23年度に各種調査・防災特性評価を実施済

酒々井町地域防災計画の修正業務は、平成23年度及び平成24年度の継続事業で実施していますが、平成23年度に防災アセスメントの見直しとして、災害履歴調査、自然条件調査、社会条件調査、公共施設及び防災関連施設等の状況整理、災害危険箇所調査、地震被害想定調査及び当町の防災特性の評価を行いました。

#### 一 素案を作成し、ご意見を伺います

今年度は、現在、庁内に防災担当者会議や防災計画検討委員会を設置し、防災体制の見直し等を行い、また、町民と行政の協働の立場から防災関係の各団体の代表者からなる防災懇談会を設置し、当町の災害対策に関すること及び本計画の修正に関することを検討しているところです。

また、千葉県地域防災計画が8月6日に東日本大震災を受けて大幅な修正が加えられたところであり、この新計画を基に当町の実情に沿った修正を行うとともに、今後、地域防災計画素案の作成、パブリックコメントの実施、防災会議の開催、職員の防災対応を基本としたマニュアルの作成、地域防災計画概要版の作成等を行います。



## 報告2 庁舎耐震補強設計等の進捗状況について

### 災害対策の拠点

### 役場本庁舎など耐震化へ

庁舎の耐震補強設計及び大規模改造実施設計業務委託について、平成24年7月2日付けで契約を締結し、設計業務に着手したところです。

現在、「耐震補強」、「エレベーターの設置」、「アスベストの除去」について、それぞれ設計中であり、今後進捗に応じ全体のスケジュール等が示されることとなりますので、状況に応じ議会に報告します。

なお、当該工事にあたっては施設を使用しながらの施工となることや耐震診断の結果からも耐震性能に問題があるとの診断を受けているプレハブの東庁舎が支障となることから、工程等を踏まえ来庁者への対応や業務に支障をきたさぬよう代替施設の検討を行ってまいります。



### 報告3 酒々井ちびっこ天国 夏季プール事業の運営について

ちびっこ天国 前年を1万人上回り

好天により **入園者6万3千人超**



酒々井ちびっこ天国の夏期プール事業は、7月21日から9月2日までの44日間のうち、天候不順等による休園が3日、途中休園が3日あり、開園日は41日でした。

なお、スライダープールの閉鎖の影響も懸念されましたが、好天が続いたことなどから入園者数は6万3,892人となり、昨年度を1万718人上回る結果となりました。

なお、開園期間中は、大きな事故等もなく良好な運営が実施されました。

### 報告4 環境・防災に配慮した学校施設の整備推進について



エコスクール化へ



小中学校に **太陽光発電を整備**

地球規模の環境問題が社会的に大きく取り上げられている現在、学校施設においても環境への負荷の低減に対応した施設の整備（エコスクール化）が求められています。

学校施設は、大規模地震や豪雨等の非常災害時に地域住民の避難場所であるとともに、避難所での必要最低限の情報収集・発信などの機能を確保する必要が求められています。

これまでに、施設の耐震化100パーセントを達成し、エアコンの設置を進めるなど教育環境の整備に努めてまいりましたが、今後の当町における学校施設のあり方として、環境への配慮及び防災対策の観点から、所用の校地の確保や太陽光発電設備の設置に取り組もうとするものです。

#### 災害時の非常用電源としても活用

太陽光発電設備は、蓄電池を組み込んだ太陽光発電設備を整備することにより、平常時には、太陽光発電による消費電力の削減、休日等に電力が余った場合の余剰電力の売電、更に、学校での災害時非常用電源としての活用などの利点があることから小中学校への太陽光発電設備の設置を計画したところです。

太陽光発電設備の設置には、専門業者による調査に基づいて発電容量や蓄電池の容量などを検討し、設備を設計するために、本議会に調査、設計委託料525万円を計上しました。